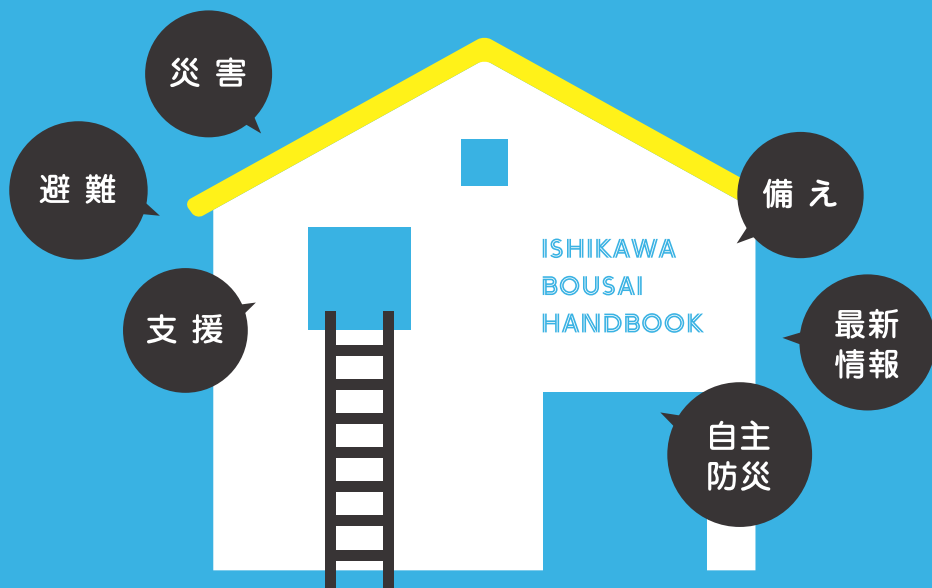




防災

ハンドブック



4「もしも」に備える つのポイント

近年、石川県では、大きな地震や記録的な大雨が発生しており、日頃から災害への備えを十分にしておくことが大切です。まずは「4つのポイント」をおさえましょう。

準備が
できたら
チェック!

Point

1

地域の災害リスクを調べよう

危険箇所の確認



県内の市町では、災害発生時の被害想定などを示したハザードマップを公開しています。地図上に記載してある、水害・土砂災害の発生予測の範囲や避難所などを調べておきましょう。

ここがポイント!

自宅や職場など、身の回りの危険箇所や避難場所をハザードマップで調べて、地域の訓練などで安全な複数の避難経路を確認しておきましょう。

Point

3

災害時に必要な物を備えよう

備蓄品



災害発生直後は、支援物資が届くまで時間を要することを想定し、最低3日分(できれば一週間分)の水や食料などを備えておきましょう。

ここがポイント!

< ローリングストック ⇒ P13 >
普段からちょっと多めに食材を買い置きし、食べた分を買い足す。

非常持出品



- 家族構成や健康状態に配慮したものを準備(乳幼児のいる方はおむつ、持病のある方は薬など)
- マスク、消毒液など感染症対策用品を準備

Point

2

我が家を安全な場所にしよう

耐震化



昭和56年以前の住宅では、まずは耐震診断を実施することが重要です。結果に応じて、補強計画、耐震改修を実施し、耐震化に取り組みましょう。

ここがポイント!

県内には、建物倒壊の被害が生じやすい昭和56年以前の住宅の耐震改修に対して150万円まで全額補助する、手厚い補助制度があります。

家の中の安全対策



耐震改修だけでなく、家具の転倒や落下などを防止する安全対策にも取り組みましょう(家具の固定、家具を減らす、配置の工夫など)。

Point

4

防災情報の収集方法を知ろう

正しい情報の入手



災害発生時に、迅速で的確な行動を取るためには、正確な情報を入手する必要があります。気象庁などが発表する情報を確認しましょう。

ここがポイント!

身の安全を守るためには、自らが情報収集を行い、いち早く避難行動を取ることが最善の策です。
< 最新の災害情報 ⇒ P15 >
☆背景紙QRコードもご活用ください!

もくじ

P3

地震・津波

P5

風水害・土砂災害

P7

火山・雪害

石川県では、こういった災害が起きた、または起こりうるのか。自分が住んでいる場所、「石川県」を知りましょう。

P9

避難行動

災害が起きた時、どう行動したら良いか。事前に頭の中を整理しておくことが大切です。

P11

要配慮者支援

要配慮者をいつ・誰が・どう避難させるのか。その計画について記載しています。

P13

日頃の備え (家具固定、備蓄など)

災害が起こる前に、どういった備えが必要なのか。平常時から準備しておきましょう。

P15

最新の災害情報

災害時、最新の災害情報はどこで手に入れ、または発信していくのか。災害が起きる前から把握しておきましょう。

P19

自主防災組織のしくみ、 防災士の活動

自主防災組織とは何か？防災士は何をしたら良いか？自主防災組織・防災士の基本的な活動を確認しましょう。

石川県の地震と津波への対策について

主要な活断層について

石川県の主要な活断層は、能登半島に
邑知潟断層帯と、その延長上に森本・富
樫断層帯があります。どちらも、令和6年

能登半島地震のM7.6と同程度の地震
を引き起こす可能性があります。

断層帯名	予想 地震規模 (M)	平均 活動間隔	最新 活動時期	地震発生確率			
				30年以内	50年以内	100年以内	全国的に見て
森本・富樫 断層帯	7.2 程度	約1700年 ～2200年	約2000年前 以後～ 4世紀以前	2～8%	3～10%	7～30%	高い
邑知潟 断層帯	7.6 程度	約1200年 ～1900年	約3200年前 以後～ 9世紀以前	2%	3～4%	5～8%	やや 高い

能登地方(珠洲市付近)の地震活動について

能登地方では平成30年頃から活発な
地震活動が見られます。令和4年6月に
は震度6弱、令和5年5月に震度6強の
地震が発生したほか、令和6年1月には
震度7の地震が観測され、死者260名、
負傷者1,207名の人的被害、全壊
8,063棟、半壊16,720棟の住家被害
(令和6年6月18日時点)をもたらすな
ど、県政史上未曾有の大災害となりまし
た。それ以後も震度1以上の地震が頻発

しています。この状況は当面継続すると
考えられますので、引き続き強い揺れを
伴う地震に注意してください。家具の固
定、重量物の落下・転落防止を行うなど、
事前の準備も必要です。

また、地震は沿岸でも発生しており、大
地震発生時には津波に警戒する必要があります。
あらかじめ、避難場所や高台
の位置、避難経路の確認や、非常持出品
の準備などの備えをしておきましょう。

津波災害警戒区域について

津波災害警戒区域とは、最大クラスの津波が発生した際に、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれのある区域で、津波災害を防止するために警戒避難体制

を特に整備すべき区域のことです。
各市町の津波災害警戒区域図を石川県HPで公開しておりますので、ご確認ください。

地震から身を守る10カ条 ～地震が起こったら～

1 ー 我が身の安全を図る

机、テーブル、ベッドなどの下に身をふせ、様子をみましょう。

2 ー 大きな揺れが収まったら、すばやく火の始末

大きな揺れが収まったら、身の安全を守りながらあわてずに火の始末をしましょう。

3 ー 戸を開けて出口を確保

4 ー 火が出たらすぐ消火

万一出火した場合、初期のうちに火を消すことが大切です。
大声で隣近所に声をかけ合い、協力して消火につとめましょう。

5 ー 外に逃げるときはあわてずに

屋根瓦の落下や玄関前の道路の車に十分気を付けましょう。

6 ー 狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりに近づかない

ブロック塀、門柱、自動販売機などは倒れる恐れがありますので、避難の時には近寄らないようにしましょう。

7 ー 津波、山崩れ、がけ崩れに注意

居住地の自然環境を知っておくことが大切です。
津波避難は海岸線から遠いところよりも、より高いところを意識しましょう。

8 ー 避難は歩いて、荷物は少なく

消火、救護活動等の障害となりますので、車は原則として使わないこと。
また、身軽に行動できるよう荷物も最小限にしましょう。

9 ー 協力し合って応急救護

お年寄りやケガ人などに声をかけ、みんなで助け合いましょう。

10 ー 正しい情報を聞く ⇒ P18

石川県の風水害、土砂災害について

石川県では、たびたび大雨による風水害・土砂災害に見舞われています。

近年では、令和4年8月に記録的大雨が発生し、小松市と白山市では県内で初めて「緊急安全確保」が両市から発令さ

れました。川の氾濫により、各地では家屋の損壊、浸水等の被害が相次ぎました。こうした災害に備えた、日頃の行動・意識が必要となります。

日頃の備え

1 防災情報の収集

気象台が発表する土砂災害警戒情報・氾濫危険情報や、市町が発令する避難情報などを確認しましょう。

(→P15 最新の災害情報)

2 危険箇所・避難経路の確認

ハザードマップなどを確認し、お住まいの地域の危険箇所や避難経路をあらかじめ確認しましょう。



災害時の避難

1 予防的避難

大雨発生時など、夜間では避難そのものが危険になる場合があります。防災情報を収集し、明るい時間帯での予防的避難を心掛けましょう。

2 垂直避難

激しい雨や、暗い時間帯など、避難所へ向かうこと自体が危険である場合には、自分がある建物の中で、できるだけ高い場所に逃げる「垂直避難」を行いましょう。

3 近所や避難行動要支援者への声掛け ⇒ P9

これまでの主な被害

浅野川はん濫

平成20年7月、極めて短期間に集中した記録的な豪雨により、浅野川が55年ぶりにはん濫し、大規模な洪水被害が発生したほか、上流部でも土砂災害が発生しました。

この集中豪雨により、浅野川流域全体の約2万世帯、約5万人の住民に対して、



「避難指示」が出されるなど、住民生活に大きな混乱をもたらす災害となりました。

令和4年8月豪雨

令和4年8月4日、加賀地方を中心に記録的な大雨が降りました。

小松市では梯(かけはし)川が氾濫し、住家被害や車が流されるなどの被害が相次ぎました。被害を受けた住家は、全壊1棟、半壊5棟、床上浸水318棟など、計1,514棟に上りました。

また、小松市と白山市に、「記録的短時間大雨情報」が発表されたほか、警戒レベルが最大の「緊急安全確保」が県内で初めて発令されました。

ほかに、川北町を含む6市町には「避難指示」が発令されました。

【令和4年8月豪雨による被害】



石川県の火山「白山」

石川県の代表的な火山として、白山が挙げられます。

日本百名山の一つとして有名な白山ですが、活火山であることが知られています。

噴火の前触れ

何の前触れもなく噴火する可能性もありますが、噴気等の異常が見られる場合は、安全な場所まで避難し、地元市町や警察、気象台などに通報しましょう。

噴火が始まったら…

噴火に遭遇したら、ただちに火口から離れるとともに、近くの岩陰などの身を隠せる場所に避難しましょう。また、ヘルメット・ゴーグルを着用し、マスクや湿らせたタオルなどで口を覆いましょう。

【火山の噴火警戒レベル】

種別	名 称	対象範囲	噴火警戒レベル (キーワード)	火山活動の状況
特別 警戒	噴火警報 (住居地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより火口側	レベル5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態と予想される。
			レベル4 高齢者等避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が高まってきていると予想される。
警 報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から居住地域 近くまでの広い 範囲の火口周辺	レベル3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
		火口から 少し離れた所まで の火口周辺	レベル2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
予 報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。

出典:「気象庁HP」

石川県の雪害

石川県では、雪害による人的被害及び住家被害が頻発しています。近年では、平成30年1～2月、令和3年1～2月、直近では令和4年12月の大雪が記憶に新しいと思います。倒木による通行止めや停電・断水など、重要なライフラインが一時的に閉ざされたほか、屋根から



の落雪に巻き込まれた死亡者が出たりするなど、深刻な被害を受けました。

雪害に備えて

雪による被害の多くは、屋根の雪下ろしなどの除雪作業中に発生しています。除雪作業中などの事故防止対策を徹底

しましょう。作業は2人以上で行い、やむを得ず1人の場合は、家族・隣近所にも声掛けをしましょう。

平地での雪かき

- 1 作業前には、側溝や水路などの危険箇所の確認を！
- 2 屋根からの落雪にも注意！
- 3 除雪機に詰まった雪の除去は、必ずエンジンを止めてから！



屋根雪下ろし

- 1 高所作業中は足を滑らせないように注意。命綱・ヘルメット等の安全対策を！
- 2 落とす雪が通行人等に危害を与えないように注意！
- 3 晴れた日は屋根雪がゆるんでいるため、より一層注意すること！

避難行動

適切な避難行動

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう！
災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則です。

避難とは「難」を「避」けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

避難先は、小中学校・公民館ではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

市町が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている
可能性があります。災害時には市町ホームページ等で確認してください。



地震発生時の避難行動

● ブレーカーを落とす、ガスの元栓を閉める

地震による停電解消後、壊れた家財道具に通電し、火災が発生する恐れがあります。ブレーカーをOFFにしましょう。ガスも同様に、復旧した際にガス漏れる恐れがありますので、元栓を閉めましょう。

● 安否情報を記録する

避難する際は、自宅ドアなどの分かりやすい場所に、自分や家族の安否情報をメモした貼り紙をしましょう。電話が通じにくくなるのが予想されますので、災害用伝言ダイヤル(171)・SNSを活用した連絡方法も有効です。

● 避難は徒歩で

避難する時は原則として徒歩で避難しましょう。車を使用すると、渋滞が起こり、消防・救急活動などに支障をきたす恐れがあります。

● 近所や避難行動要支援者への声掛け

避難を進めるには、地域の住民で声を掛け合うことが大切です。
逃げ遅れないように住民同士で声をかけ、助け合うことも「共助」です。

豪雨発生時の避難行動

避難行動判定フロー

あなたが
とるべき
避難行動は？

スタート！

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩壊してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいる身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

レベル3

警戒レベル**3**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

レベル3

警戒レベル**3**が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいる身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

レベル4

警戒レベル**4**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

レベル4

警戒レベル**4**が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

※警戒レベルについて ⇒ P17

要配慮者支援

避難行動要支援者対策

要配慮者と避難行動要支援者

1 要配慮者

高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、児童、日本語に不慣れな外国人などの防災対策に配慮を要する人

2 避難行動要支援者

要配慮者の中でも、自力での避難が難しく、避難の確保に特別な支援が必要な人

【避難行動要支援者の特徴】

- 身の危険を察知できない
- 救助者に助けを呼べない
- 自分一人では避難できない
- 避難所での生活が難しい など

個別避難計画の作成について

避難行動要支援者名簿の普及が進んだものの、いまだ災害により、多くの高齢者が被害を受けており、避難の実効性の確保に課題があります。

避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図る観点から、個別避難計画の作成については、市町の努力義務とされたところ です。

用語解説

避難行動要支援者名簿

東日本大震災の教訓を踏まえ、市町に対し、要配慮者のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方の名簿(避難行動要支援者名簿)の作成を義務付けた制度

個別避難計画

避難行動要支援者名簿に掲載された方おひとりごとに、避難支援を行う人や避難先などを盛り込んだ避難支援等を実施するための計画

地域防災計画

地域防災計画とは、災害対策基本法第40条の規定に基づき、災害から県土並びに県民の生命、身体及び財産を保護することを目的とするものです。令和

元年台風第19号（令和元年東日本台風）及び令和2年7月豪雨では、以下のような課題が発生しました（石川県としての対応も記載してあります）。

1 高齢者を中心に、 逃げ遅れなどにより甚大な被害が発生

- 令和3年度には、川北町で個別避難計画策定のモデル事業を実施
- 未着手の市町を中心に個別避難計画の策定支援

2 激甚化する豪雨災害を踏まえ、 他の自治体への避難体制の整備が必要となったこと

- 富山県・福井県や、中部圏などと相互応援協定等を締結
- 石川県バス協会と災害応援協定を締結
- 広域避難訓練を実施（県防災総合訓練）

3 自分は災害に遭わないという思い込み （正常性バイアス）により、 多くの逃げ遅れが発生したこと

- 県政出前講座の提供、
小中学校への学校防災アドバイザーの派遣、
防災意識の啓発



日頃の備え

災害はいつ、どこで起きるか分かりません。
災害に備えた「日頃の備え」が大切です。
では、具体的な備えについて見ていきましょう。



ローリングストック

ローリングストックとは、普段から少し多めに食材を買い置きし、
食べた分を買い足していく方法です。



ローリングストックのメリット

- 食材の賞味期限が切れて廃棄したという失敗が少ない
- 災害時にも普段から食べているものが食卓に並ぶという安心感が生まれる
- 賞味期限前に毎日非常食を食べて入れ替えるといった負担が少ない

家具の固定

過去の地震災害では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。

家具の固定は、今すぐできる地震対策です。家具が転倒しないよう、しっかりと固定しましょう。

家庭などで実施できる防災対策



学習や訓練

防災の知識や技能を高めるため、地域で行われる防災学習や防災訓練へ、積極的に参加しましょう。

家族間での話し合い

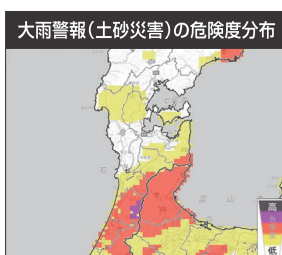
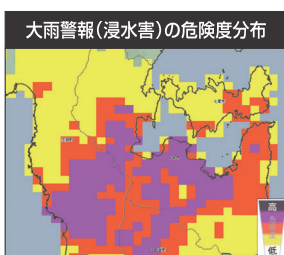
日頃から、家族で互いの安否確認方法、避難場所、避難経路を確認しておきましょう。そのほか、ご自宅の耐震化、地震保険への加入などを家族間で検討してみましょう。

最新の災害情報

災害が発生した時、
最新の災害情報の入手・共有方法について見ていきましょう。

キキクル

「キキクル」は、気象庁による、洪水災害・浸水害・土砂災害の危険度を見ることができるサイトです。大雨による災害発生危険度の高まりを地図上で確認でき、自主避難の判断に役立ちます。



石川県防災ポータル

「石川県防災ポータル」では、県内の避難情報や避難所情報のほか、
気象警報・注意報や台風など自然災害に関する情報を提供しています。

Yahoo! 防災速報アプリ

設定した地域に関する豪雨や避難情報などの災害情報が
配信された際に、通知を受け取ることができます。

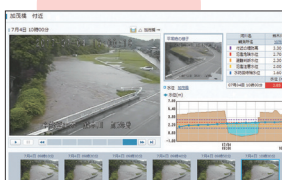


石川県河川総合情報システム

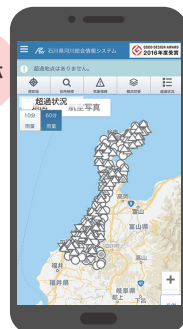
「石川県河川総合情報システム」では、石川県内の雨量や河川の水位や様子、気象警報・注意報など河川の防災情報をリアルタイムで確認できます。



ホームページ



スマホ

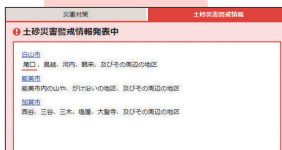


石川県土砂災害情報システム(SABOアイ)

「SABOアイ」では、大雨による土砂災害に備えて、地区単位で土砂災害の危険度などをみることができます。ほかに、土砂災害についての基礎知識や、土砂災害警戒情報を確認することができます。



ホームページ



スマホ



石川みち情報ネット

「石川みち情報ネット」では、県内道路の規制状況を確認できます。

新たな避難情報

災害時、発表されている避難情報を確認しましょう。

警戒レベル3以上については、市町が発令します。

警戒レベル4避難指示のタイミングまでに、
必ず全員避難しましょう。

警戒レベル 5	災害発生 又は切迫	緊急安全確保 ※1
～ 警戒レベル4までに必ず避難！～		
警戒レベル 4	災害の おそれ高い	避難指示 ※2
警戒レベル 3	災害の おそれあり	高齢者等避難 ※3
警戒レベル 2	気象状況 悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
警戒レベル 1	今後の気象情報 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

- ※1 市町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、
警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
- ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
- ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、
避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

SNSを活用した災害情報の投稿について

SNSに投稿された災害情報も大切な情報の1つです。
無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

SNS投稿対象は…

Twitter

Instagram

TikTok

Facebook

YouTube

SNSでの投稿例

皆様の本来の活動が最優先です。ご協力いただける場合は、
支障のない範囲で、身の安全を確保した上でお願いします。

【 Twitter投稿例 】

(投稿についてのお願い事項)

- 1 災害情報等の
写真や動画を投稿
- 2 投稿本文に災害発生場所
(市町及び地区、校下)を入れる
- 3 投稿本文に
「#石川県消防団」または
「#石川県防災士」を入れる



石川県防災

@Bousai_... · 3月29日



石川県内での災害・火災状況
〇〇市〇〇地区△△校区で被害が発生

#石川県防災士

※迷ったら、「#石川県防災士」で投稿！

その他

災害時は、悪意のあるデマや不正確な情報が
流れやすいので、「正確な」情報の収集に努めましょう。

例) テレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車、市役所・町役場からの情報収集



自主防災組織のしくみ、防災士の活動

自主防災組織

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織をいいます。

平常時にどのような対策をして、災害時にどのような対応をするかを決める防

災計画や、活動計画・活動目標に基づき、地域の防災活動を行います。



自主防災組織の活動

自主防災組織は、こういった活動をしているのでしょうか。

平常時と災害時に分けて見ていきましょう。

平常時

● 防災に関する啓発活動

● 家庭内安全対策

耐震診断等の建物の安全対策、家具等の転倒・落下防止、防災用品や食糧・飲料水等の物資の事前準備、火災警報器設置促進など

● 地域の災害危険箇所や防災資源の把握

● 訓練

防災訓練、個別訓練、総合訓練、体験イベント型訓練、図上訓練といった訓練を通じた地域の防災意識の向上

● 防災資機材の整備

● 要配慮者対策

● 地区防災計画の策定

防災士などと協力しながら、地域ぐるみで地区防災計画をつくり、それに基づいて防災活動を展開することが求められます。

災害時

災害時の活動は、災害発生からの時間の推移により変化するため、時期に応じた的確な活動を行う必要があります。

- 正確・迅速な情報の収集・伝達
- 出火防止、初期消火
- 救出、救護
- 避難誘導
- 避難所開設、運営
- 給食、給水



防災士に期待される役割

防災士には、防災に関する知識や技術をもとに、平常時・災害時・災害発生後において中心的な役割を担っていただくことが期待されています。

幅広い年齢や男女の様々な視点を確保することは、地域防災力の向上を図る上で大切なことです。

防災士の原則は、「自分から動く」ことです。まずは、自宅の安全対策や、地域の防災訓練への参加など、できることから始めましょう。

自主防災組織と自治体との連携を図りながら、地域防災力の向上に寄与していきましょう。

この頁について、
より詳細に知りたい方はこちら

石川県 自主防災組織活動の手引き [検索](#)

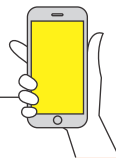


防災士とは 日本防災士機構HP [検索](#)



Memo

最新の災害情報



1 キキクル(気象庁)

大丈夫? 迫る災害を一目で確認!
大雨による災害の危険の高まりを見てみましょう。

キキクル

検索



2 石川県防災ポータル

今いるところやお住まいの地域の
防災情報を確認!



石川県防災ポータル

検索

3 Yahoo! 防災速報

緊急地震速報、豪雨予報、避難情報などを
いち早くお知らせ。

Yahoo! 防災速報 アプリ

検索



4 石川県河川総合情報システム

石川県の雨量や河川の状況を確認!



石川県河川総合情報システム

検索

5 SABOアイ(石川県土砂災害情報システム)

地区単位で、土砂災害の危険度を確認!

SABOアイ

検索



6 石川みち情報ネット

県内道路の規制状況を確認!



石川みち情報ネット

検索

石川県危機管理監室 危機対策課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1

TEL/(076)225-1483 FAX/(076)225-1484

MAIL/e170700@pref.ishikawa.lg.jp

発行/令和6年6月